

未来へ繋ぐ防災のたすき ～持続可能な防災への取り組み～

優良賞

昭島自治会連合会（昭島市）

【経 緯】

21 ブロック、96 自治会、約 18,000 世帯で組織されている昭島市自治会連合会は、地域住民が防災に対する市民の責務を果たすという目的のもと、「自分たちのまちは自分たちで守る。」という自覚と地域の連帯感に基づき、自主防災組織を結成している。近年、自治会に加入しない若者世代の増加や高齢化による脱会等で自治会運営は厳しい状況にもかかわらず、大規模な地震発生時の地域コミュニティでの助け合い＝共助の絆づくりのため、当連合会は団結して未来へ持続可能な様々な防災活動に取り組んでいる。

【活動内容】

1 「自治会運営マニュアル」等の作成

持続可能な防災行動力向上を目指し、これまでに培ってきた自治会員の防災行動力を低下させないために、役員交代時に自治会活動の引継ぎがスムーズに行えるよう、平成 24 年に「自主防災組織震災時活動マニュアル」を作成し、平成 30 年には「自治会運営マニュアル」を作成している。継続した防災訓練を行うため、防災訓練の進め方や避難所運営要領等をマニュアル化したことで、持続可能な防災行動力の維持向上に大きな成果を上げている。

2 11 年連続 1,100 名規模の「まちかど防災訓練」を継続中

昭島市内全ての自治会には市よりスタンドパイプが配置されている。当連合会では平成 25 年から毎年継続して、消防署員と消防団員の指導のもと、「まちかど防災訓練」としてスタンドパイプによる消火訓練等を実施している。この訓練には延べ 1,100 人

を越す市民が参加し、初期消火能力の向上を図っている。

3 「防災NEWS」の発行

当連合会の各ブロック長で組織する防災指導部会は、平成 27 年度から昭島消防署と連携し、広報誌「防災NEWS」を毎月 2,000 部作成し、全自治会に回覧している。この「防災NEWS」は昭島消防署からいただいた情報を基に、時節に応じたタイムリーな防災情報を発信し続けている。

また、当連合会でも、独自のホームページサイトを立ち上げ、防災関連記事を掲載するなど防火防災意識の普及啓発にも努めている。

4 市内各小中学校との継続した学校避難所運営訓練

平成 27 年 1 月、学校及び市と連携した学校避難所運営ガイドライン協議会を発足し、「学校避難所運営ガイドライン」を作成した。現在はそのガイドラインに基づき、各学校単位に「学校避難所運営委員会」が設置され、避難所を運営するための「避難所運営マニュアル」が策定されている。このマニュアルに基づく避難所運営訓練が、毎年、市内 20 の小中学校において約 300 名規模で実施されており、今年で 10 年の節目を迎える。



学校避難所運営訓練



スタンドパイプ「まちかど防災訓練」